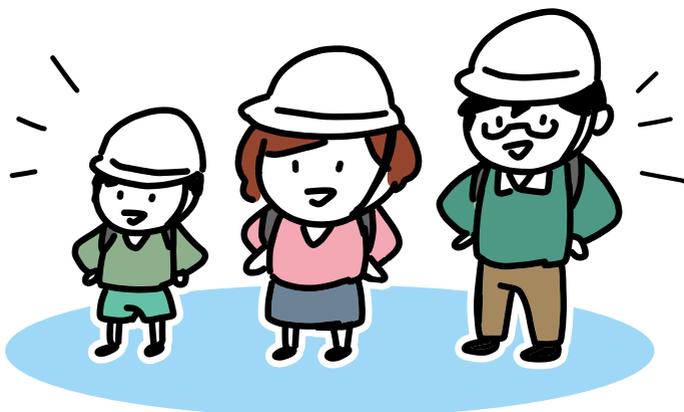


保存版

防災 BOOK

みんなであらう
考えよう



男女共同参画の視点を取り入れた

地域防災力向上

YATSUSHIRO CITY

はじめに

災害は、いつどこで起きるかわかりません。いざというときに命を守るためには、「自助・共助・公助」の考え方が欠かせません。まずは自らの命を守る「自助」、地域で支え合う「共助」、そして行政による「公助」。この三つが連携してこそ、真に強い地域防災力が生まれます。

女性と男性が災害から受ける影響の違いに配慮するため、この「防災ミニブック」には、男女共同参画の視点を取り入れることにより、誰もが安心して避難し、支援を受けられるための工夫をまとめました。

市民の皆様には、日頃の備えと地域での話し合いに本書を活用いただきたいと思います。



令和8年3月 八代市長 小野泰輔

～広がる共助の輪～

「互いに気配りのできる地域防災」を目指して!

町内の自主防災会で避難訓練などの企画を担当しています。活動のきっかけは、民生委員をしていたとき、高齢者や障がいのある方々などとの関わりの中で、地域の助け合いの大切さを身に染みて感じたからです。

特に災害に対しては、地域の多くの方々の協力が必要であり、「お互いが気配りのできる地域防災」を伝えていきたいと思っています。

平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨、令和7年8月豪雨などの災害での経験を踏まえ、地域での防災活動の大切さを益々伝えていきたいと思っています。

防災士 松村豊子



「男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災」に取り組もう!

体験型のワークショップを不定期で開催していますが、防災・減災の取組は家庭生活の延長線上にあるので、難しいよと伝えながら、地域の特徴や参加者に合わせて楽しい講座になるよう工夫しています。

私たちは熊本地震や豪雨災害を経験しています。まずは家庭内で、「災害が起こったらどうする?」と、具体的に想像しながら話し合ってみましょう。

次に非常用持ち出し袋や備蓄品など、自分に合わせた準備や再点検を行ってみましょう。

また、ご近所さんとお互いに協力体制ができると、いざという時に安心できますね。

防災士 井山さおり



CONTENTS



Chapter1

地域防災力の向上

～みんながともに支え合い防災力を高めていきましょう～

みんなとつながりましょう! 挨拶から	P01
みんなで考えよう! 防災力の向上	P02

Chapter2

日頃の備え

～普段から準備し、持ち出しやすい場所に備えておこう～

備えておこう! 備蓄品	P03
これも使える! 代替品あれこれ	P04
正しい情報をいち早く! 入手ルートの確認	P05
登録しよう! 八代市の防災情報サービス	P06
家族で話し合おう! わが家の防災行動	P07
作ってみよう! あなたの防災行動計画書「マイタイムライン」	P08
いますぐチェック! 住まいの安全と地震対策	P09
わが家の「備え」メモ	P10

Chapter3

災害発生時 ～あなたと家族を守るために～

あつ地震! そのとき身を守るには	P11
逃げ遅れない! 水害・土砂災害の警戒レベル	P12
注意しよう! いろいろな災害への対処法	P12
いざ避難! 気を付けることは	P13

Chapter4

避難所生活 ～多様なニーズを尊重し、みんなで支えあう避難所～

気を付けよう! 避難所生活の留意点	P14
覚えておこう! 避難所運営の知識	P15

Chapter 1 地域防災力の向上

みんなとつながりましょう！挨拶から

私たちは熊本地震や令和2年7月豪雨、令和7年8月豪雨など未曾有の災害を経て、様々な人々が協力し合い、災害への備えを強化する必要性を深く自覚しました。

災害時には、「自助」「共助」「公助」の3つが連携しながら機能することが必要です。

隣近所で助け合える
関係づくりから
始めてみましょう

みんなと
つながる
3ステップ

- Step1 挨拶を交わし、ご近所と顔見知りになりましょう。
- Step2 自治会(町内会・区会等)の地域行事に参加してみましょう。
- Step3 地域の防災訓練に参加してみましょう。

災害時にみんなで助け合う地域を目指しましょう！

自主防災組織

市内には自治会単位などで221の組織があります。資機材点検、地域防災訓練等様々な活動を行っています。

地域防災訓練

八代市では毎年、大規模災害を想定し、地域防災訓練を行っています。初期消火活動、応急手当などを体験できます。



女性消防団について

八代市の女性消防団員は33名です(全体約2,000名)。日頃は広報、啓発などの防災活動を行っています。みなさまの入団をお待ちしています。

【問合せ先】八代市危機管理課(☎0965-33-4112)

～みんながともに支え合い防災力を高めよう～

みんなで考えよう！防災力の向上



自分の身は
自分で守る

互いに助け合う

自助

共助

地域の防災力

災害時の被害を抑える



行政、消防機関に
よる救助・援助等

公助



地域の防災力を
高めるには
**地域の皆さんの協力が
不可欠**です！

自主防災組織や

地域防災訓練、避難所運営での

役割分担を考えると、誰もが参画しやすい視点で！！

- 役割を性別で固定化しない。仕事の分担は、男女双方が参加できるように。
- 高齢者、子ども、障がいのある人、外国人、LGBTQなど様々な人の視点で考える。
- 地域協議会、婦人会、自治会、老人会、子ども会などの団体とつながる。
- みんなで防災機材の使用訓練や避難所シミュレーションをやってみる。

Chapter 2 日頃の備え

普段から準備し、持ち出しやすい場所に備えておこう

備えておこう! 備蓄品

自分にとって、家族にとって必要なものはなに?

非常持出品

- 携帯食 (保存食・レトルト食品)
- 飲料水
- 懐中電灯
- 現金
- モバイルバッテリー
- 保温アルミシート又は毛布
- お薬手帳、救急箱 (常備薬、絆創膏、消毒液など)
- マイナンバーカード (健康保険証や免許証)
- タオル類
- マスク・軍手
- ウェットティッシュ
- 歯ブラシ
- ビニール袋
- 雨具 (レインコート)
- 着替え (数日分の下着、日常着)
- 携帯ラジオ
- 乾電池
- 携帯用ビデオ
- 生理用品
- マウスウォッシュ、歯磨きシート
- スキンケア用品やオールインワンクリームなど
- 虫よけグッズやカイロ (季節に応じて)
- アレルギー対応食 (該当する場合)



備蓄用

- 水 (飲料用、生活用/1日当たり2~3ℓ)
- 保存食 (レトルト食、アルファ化米など)
- トイレットペーパー
- ティッシュペーパー
- ウェットティッシュ
- 簡易トイレ
- 紙コップ、紙皿、割り箸
- ラップ、アルミホイル
- カセットコンロ、ボンベ
- 給水用ポリタンク
- LEDランタン



妊婦・乳幼児がいる場合

- ミルク・離乳食 (ベビーフード)
- 哺乳瓶、消毒剤
- おもちゃ
- 紙おむつ
- おしりふき
- だっこひも (おんぶひも)
- 授乳ケープ (ストールも可)
- 母子健康手帳
- 新生児用品



ペットがいる場合

- 注射済票
- ペットフード
- ペット用品 (食器、トイレ、リード、ケージなど)



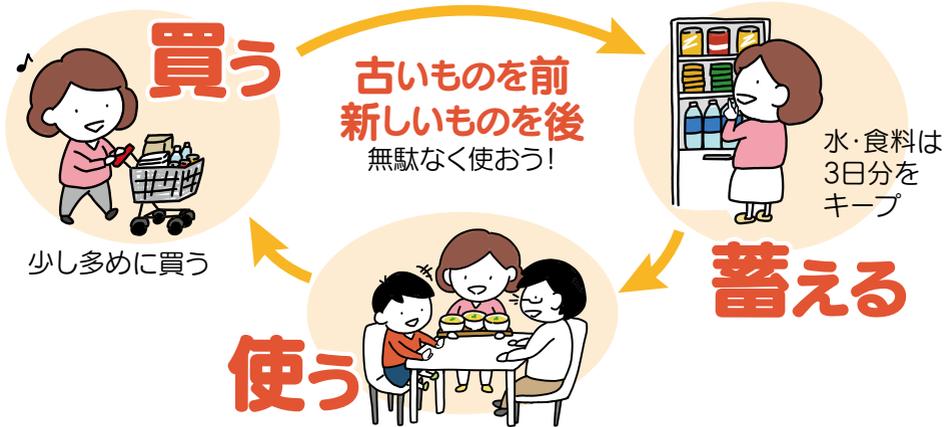
高齢者・要介護者がいる場合

- 紙おむつ
- 補聴器、補聴器用電池
- 杖
- 老眼鏡
- 入歯、入歯洗浄剤、入歯ケース
- 必要な介護用品
- 介護保険証の写し
- 高齢者用食品 (おかゆなど)



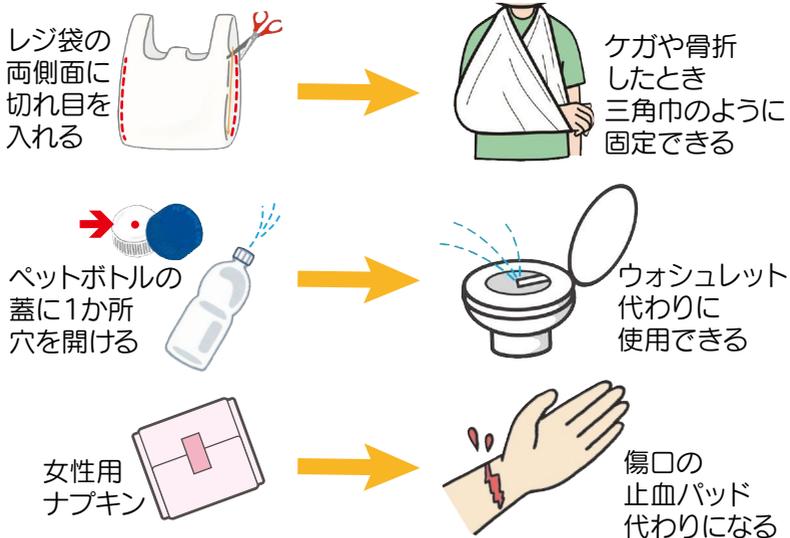
無駄を省いて賢く! ローリングストック

普段の食料品や日用品を少し多めに補充して無駄をなくしましょう。



- 保存食は家族の好みを考えて
- アレルギー対応食の準備も忘れずに
- ベビーフードやおやつは多めに
- 市販の液体ミルクも便利

これも使える! 代替品あれこれ



正しい情報をいち早く！入手ルートの確認

情報収集は、防災対策の第一歩。最新の防災情報を入手し、現状把握や将来予測により、危険を察知し避難のタイミングを逃さないことが重要です。

テレビ・ラジオ ● 警報や注意報の発表状況は、テレビやラジオを通じて知ることができます。

八代市防災サイト

● 防災マップや避難所情報、気象情報など、八代市の最新防災情報を集約したポータルサイトです。ブックマークして、いつでも見られるようにしておきましょう。

● 主な提供情報

- ・ 避難情報の発令状況
- ・ 避難所の開設・混雑状況
- ・ 気象情報、河川情報、ライフライン
- ・ 防災マップ、八代市地域防災計画



ホームページアドレス

<https://www.city.yatsushiro.lg.jp/bousai/default.html>

防災アプリ @InfoCanal

● 八代市から避難情報が発令された際など、プッシュ通知で、いち早く情報を受け取れます。その他にも、行政情報や火災情報を受信できます。

● 主な提供情報

- ・ 防災情報：避難情報や避難所開設情報、弾道ミサイル発射や、地震・津波発生などの緊急情報
- ・ 行政情報：詐欺や交通事故などの注意喚起(防犯情報)
- ・ 火災情報：火災発生情報、消防本部からのお知らせ

防災アプリのダウンロードは
こちらから！



登録しよう！八代市の防災情報サービス

スマートフォン を利用する



はい



携帯電話 を利用する



はい



固定電話・FAX を利用する



はい

いいえ

屋外での 情報配信



防災アプリ「@InfoCanal」

市から避難情報が発令された際など、プッシュ通知でいち早く情報を受け取れます。その他にも、行政情報や火災情報をお知らせしています。



Yahoo!防災速報アプリ

様々な防災情報を迅速にプッシュ通知し、早めの行動判断をサポートします。



登録制メール

登録されたメールアドレスに市の情報を配信します。QRコードを読み取るか、アドレスを直接入力し空メールを送信してください。



bousai.yatsushiro-city
@raidens2.ktaiwork.jp

一斉架電サービス(電話・FAX)

登録された電話・FAXに防災情報を伝達します。

【固定・携帯電話】音声で情報を伝達

【FAX】文字で情報を伝達

戸別受信機の貸出し(無料)(要申請)

携帯電話や固定電話を所有していない人や操作ができない人に戸別受信機を貸し出します。

※一斉架電の利用届や戸別受信機の貸与申請書は危機管理課、各支所、出張所、コミュニティセンターに設置しています。

屋外拡声器

市内に177カ所設置された拡声器から防災情報を放送します。拡声器には、蓄電池も搭載していますので、停電時にも稼働します。

電話応答サービス 電話番号:0800-200-3348

24時間
以内

放送した内容を聞き直したい方へ

屋外拡声器(屋外スピーカー)で放送した内容を電話で聞き直すことができます。

家族で話し合おう！わが家の防災行動

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。
いざというときの家族の行動を事前に
確認しておきましょう。

☑ 家族の行動の把握

- 避難所の場所 ● 避難経路
- 避難方法・手段など

☑ 危険個所のチェック

- 家の中 ● 家の周辺
- 避難所までの経路

☑ 学校、幼稚園、 保育園との連携

- 引渡し訓練などには
積極的な参加を。

☑ 子どもや高齢者の保護

- 誰が迎えに行くか ● 引渡しの方法
などあらかじめ確認しておきましょう。

電話番号と
家族写真は
持っておこうね



連絡方法を あらかじめ 決めておこう！

混乱時の連絡方法を
複数想定しておく安心

避難行動要支援者名簿について

八代市では、高齢者や障がいのある方など、災害発生時に避難支援が必要な方々(避難行動要支援者)を把握し、迅速な避難の確保を図るため、「避難行動要支援者名簿」を作成しています。避難時の誘導や補助などの支援を希望する方が、名簿に登録された情報を関係機関や支援者等へ提供することについて同意を頂くことで、日頃からの地域での見守り活動や災害時の安否確認、避難誘導など地域が連携した助け合いに活用することが可能です。

平常時の活用例

▶ 防災訓練・見守り活動

情報提供に「同意」いただいた方の情報を、市から避難支援等関係者^(※)へ提供。地域においては、「防災訓練」や日頃の「見守り活動」等を通して、対象者の把握と避難の実効性を高める。

※避難支援等関係者＝警察、消防、市政協力員、自主防災会、民生委員など

日常の見守り活動や
避難訓練等で活用



災害時の活用例

▶ 避難誘導・安否確認

支援者が積極的に防災・気象情報等入手し、地域の団体等と連携しながら、平常時に把握した避難行動要支援者の避難誘導や、安否確認を行う。

安否確認や
避難誘導時に活用



【問合せ先】 健康福祉政策課 (☎0965-33-4003) 障がい者支援課 (☎0965-35-0294)
高齢者支援課 (☎0965-33-4436) 危機管理課 (☎0965-33-4112)

作ってみよう!
あなたの防災行動計画書

マイタイムライン



「マイタイムライン」とは…

大雨や台風などの自然災害から自分の身を守るために、あらかじめ避難行動やその準備をまとめておく一人ひとりの防災行動計画です。

「我がこと」として考えることが重要!

避難のタイミングや必要な準備を具体的に書き出すことで、慌てず、最善の行動が取れるようになります。

記載例 くまもとマイタイムラインシート

家族構成	4人(一緒に避難するのは 3人)							
避難先の名称	移動時間	自宅の想定災害リスク(Oを付ける)						
避難先① ○○コミュニティセンター	徒歩15分	洪水	内水氾濫	土砂	高潮	地震	津波	台風
避難先② ○○体育館	車7分/徒歩20分							
緊急避難① いとこの家	徒歩2分							
緊急避難② 自宅裏の小高い丘	徒歩1分	○	○			○	○	○

わたしと家族の避難行動

平時の
備え

- ① 地域の訓練に参加(月 日)
- ② 八代市防災アプリ(@インフォカナル)を登録
- ③ Yahoo!防災速報アプリを登録
- ④ タイムラインシート裏面の「服装」持ち出し品「備商品」を準備
- ⑤ 八代市スマート避難所システム(はちバス)を登録
- ⑥ 最新のハザードマップの取得(更新有無の確認)
- ⑦ 備商品「持ち出し品」の数量・賞味や使用期限の確認・入替え・追加
- ⑧ 家族で避難所確認や避難路を歩く
- ⑨ 災害用伝言ダイヤル(171)の練習

警戒レベル 1 早期注意情報(警報級の可能性)が出たら行うこと

警戒レベル
2

- ① 気象予報の確認
- ② 備商品・持ち出し品の数量・賞味や使用期限の再確認・入替えや追加
- ③ 自主避難先(親戚・知人)受け入れ要請や確認、ホテル予約
- ④ 家族間の連絡確保方法の確認
- ⑤ 携帯電話の充電(充電器確保)
- ⑥ 家屋の雨漏り・浸水・飛散防止
- ⑦ 風に飛ばされやすいものを片付ける
- ⑧ 車のガソリンを満タンにする
- ⑨ 隣家に避難時の所在を予め伝える
- ⑩

大雨・洪水注意報/氾濫注意情報が出たら行うこと

警戒レベル
3

- ① 気象現況と見通しを確認
- ② ハザードマップで浸水想定区域(土砂災害警戒区域)、避難経路の確認
- ③ 家屋の雨漏り・浸水防災対策(必要により補強)
- ④ 家族で連絡体制、避難場所(合流場所)等の確認
- ⑤ 携帯電話の充電
- ⑥ 窓ガラスに飛散防止テープを貼る(台風)
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩

時発令 大雨・洪水警報/氾濫警戒情報 高潮注意報(警報の可能性)

警戒レベル
4

避難スイッチ	高齢者等避難
(このタイミングで避難する人)	(このタイミングでは避難しない人)
① 避難所開設状況の確認(避難可否確認)	① 今後の気象情報を確認
② 隣人に警戒レベル3発令連絡・避難を促す	② 避難所開設状況の確認
③ 地区会長に避難時の所在を通知	③ 家族の所在確認(自宅にいない場合)
④ 家の施設、「無事です(避難しました)」を掲示して避難	④ 避難する服装に着替える
⑤ 避難完了を家族に連絡	⑤

時発令 土砂災害警戒情報/氾濫危険情報 高潮警報・特別警報

警戒レベル
5

避難スイッチ	避難指示
警戒レベル3記載と同じ	
大雨特別警報、氾濫発生情報	
緊急安全確保	

(発生後) ★もし、避難できていない場合は、緊急的に安全を確保できる場所や建物の2階以上に移動



タイムラインを作ったら、自宅の目につくところに貼って、家族みんなで共有しましょう



QRコードから作成できます



いまずぐチェック!住まいの安全と地震対策

被害を少しでも小さくするために、できることをやっておきましょう。

避難時の服装・注意点など

地震から身を守るために日頃から備える

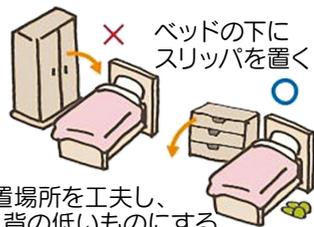


転倒しないように
家具を固定する



高いところに
物を置かない

ガラスには飛散
防止フィルムを貼る



× ベッドの下に
スリッパを置く

家具の配置場所を工夫し、
家具はなるべく背の低いものにする



日常利用しながら備蓄する
(3~7日分)
(水、食料、簡易トイレなど
家族の状況に応じたもの)
※オムツや離乳食、ベットの
間するものも備蓄する



家族と離れた時の
連絡方法を定める



地震保険に
加入しておく

消火器を準備する

家を建てるときは
耐震化や液状化
対策を行う。



住宅の耐震
診断や必要な
補強を行う



熱中症対策や
防寒対策を行う

(車中泊などに備えて)
車のガソリンを
満タンにしておく

津波から身を守るために日頃から備える



防災マップ
(市防災サイト)で
避難場所や高台の
位置、避難経路を
確認する

すぐに避難できる
よう非常持ち出し
品を準備する

(定期的に内容を見直し、薬なども準備する)



津波の到達時間の
目安を知る

津波到達時間の
想定結果(県ホームページ)

地域で顔の見える関係づくりをする
地域の防災訓練への参加や、
防災について学ぶ

引用:「くまもとマイタイムラインガイドブック(地震・津波版)」
熊本県知事公室危機管理防災課作成

Chapter 3 災害発生時 ~あなたと家族を守るために~

八代市には布田川・日奈久断層帯が存在し、大規模地震の可能性が
あります。また、風水害や山間部の土砂災害にも注意が必要です。

あゝ地震！そのとき身を守るには



屋内で

- ① 頭を守る
- ② 靴を履く
- ③ 出口を確保する
- ④ 火を消す・ガスの元栓を閉める

屋外で

- ① 頭を守る
- ② 建物から離れる
- ③ 慌てて道路に飛び出さない



車の中で

- ① 車を停める(ハザードランプ点灯)
- ② ラジオで地震情報を確認
- ③ 車から離れるときは鍵はつけたままで

エレベーター の中で

- ① すべての階のボタンを押す
- ② 止まった階で降り、階段を使う

地震から身を守る やってみよう だんごむしのポーズ



【3歳未満】

保護者のおなかあたりに子どもの頭をおき、子どものおしりを抱きかかえるように体を丸めます。



【3歳以上】

手で後頭部や首のあたりを守るようにして体を丸めます。

八代市の災害リスクについて

八代市WEB版防災マップで、住所検索もできます。



八代市WEB版防災マップ

逃げ遅れない!水害・土砂災害の警戒レベル

市からの避難情報に則した行動をお願いします。

災害が発生する恐れのある場合、市から警戒レベルに応じた避難情報を発令します。必要に応じて避難所に避難するなどの適切な行動をとりましょう。暗くなってからの避難は危険を伴います。できるだけ明るいうちに避難してください。



避難等警戒レベル

警戒レベル	避難情報など	避難行動など
5	緊急安全確保	何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況です。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保してください。
～警戒レベル4までに必ず避難～		
4	避難指示	災害が想定されている区域では、避難をしてください。
3	高齢者等避難	災害が想定されている区域では、高齢者以外の人でも自ら避難の判断をしてください。
2	大雨・洪水・高潮注意報	防災マップ(ハザードマップ)により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。
1	早期注意情報	最新の防災気象情報などに留意するなど、災害への心構えを高めてください。

すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待っているはいけません。

警戒レベル4 避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間がかかる高齢の人や障がいのある人などは**警戒レベル3 高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。



注意しよう!いろいろな災害への対処法

津波

高台へ避難

- ① 「より高い場所へ」速やかに
- ② できるだけ徒歩で
- ③ 第2波、第3波にも注意

風水害

事前に安全対策

- ① 飛びやすいものは室内へ
- ② 非常持ち出し用品の準備
- ③ 外壁や窓の確認・補強

土砂災害

早めの避難

- ① 降水量が1時間に20mm以上、降り始めから100mm以上になったら要注意
- ② 山や崖から離れた場所へ早めの避難

いざ避難！気を付けることは

避難時の服装・注意点など

長袖、長ズボン、帽子

・ けが防止のために

リュック

- ・ 両手が使えるように
- ・ はぐれた場合も想定して、子どもにも持たせましょう



スニーカー

- ・ 浸水被害の場合
長靴厳禁

※ベビーカーでの避難は避けましょう。



暑さ対策

- 衣服
風通しがよく、乾きやすい素材
- タオル
濡らして首や手足の付け根を冷やすと効果的！



寒さ対策

- 上着
風を通さないもの
- 新聞紙
もみほぐして、服の中に入れてたり、毛布に重ねて、保温シート代わりに

自宅から避難するときに注意すること

（電気のブレーカーを落とす）

（ガスや水道の元栓を閉める）

（カーテンを閉めてカギをしめる）

気を付けよう！避難所生活の留意点

避難所での マナールール

- 飲酒
- 喫煙
- ゲーム機や携帯電話
- 消灯時間
- 物資配給
- ゴミ出し など

子どもたちにも
しっかり説明して
あげましょう。



避難所では、互いの
プライバシーに配慮
し、マナールールを
守りましょう！

ペット避難 について

八代市内のすべての避難所で、ペットの「同行避難」ができますが、いざというとき、あなたの家族とペットが安全に避難生活するためには、心構えと日頃からの備えが大切です。

ペット同行避難とは？ 災害発生時に、飼い主がペットを同行し、避難所まで安全に避難する「行動」のこと。※避難所の同室でペットを飼養すること（同伴避難）ではありません。

家族みんなの心構えと備え

- 家族間の連絡方法、集合場所
- 非常持ち出し袋等、備蓄品の保管場所と中身の確認
- ペットをどう守り、避難させるか
- 飼い主が留守中の災害の時の対処方法
などを家族で話し合い、いざというときに備えておきましょう。



ペットのための災害時の備蓄品

優先順位1 ペットの命や健康に係るもの

療養食、薬、フード、水（少なくとも5日分）、予備の首輪、リード（伸びないもの）、キャリーバッグ、ケージ

優先順位2 ペットの情報を記録したもの

ワクチン接種状況、既往歴、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報、ペットの写真

覚えよう！避難所運営の知識

高齢者や肢体不自由な方…

トイレや出入り口近くに、居住スペースを設置する配慮も必要です。

女性用と表示し、外から見えないようにすると安心。

洗濯物干場
(女性用)

大人の目の届くところに子どもたちのスペースがあると安心。

女性トイレ

女性更衣室

授乳室

キッズスペース

安否情報掲示板

更衣室、授乳室などは間仕切りを。

居住スペース

ホイッスルや防犯ブザーを設置

明るい照明やパトロールなどで、安全・安心な環境を作りましょう。

居住スペース

出入口

男女それぞれのリーダーを配置。

受付

外国人の避難者用に、多国語でのお知らせも必要。
(翻訳アプリを活用)

運営本部

連絡掲示板

男性トイレ



みんなで互いに協力しましょう。

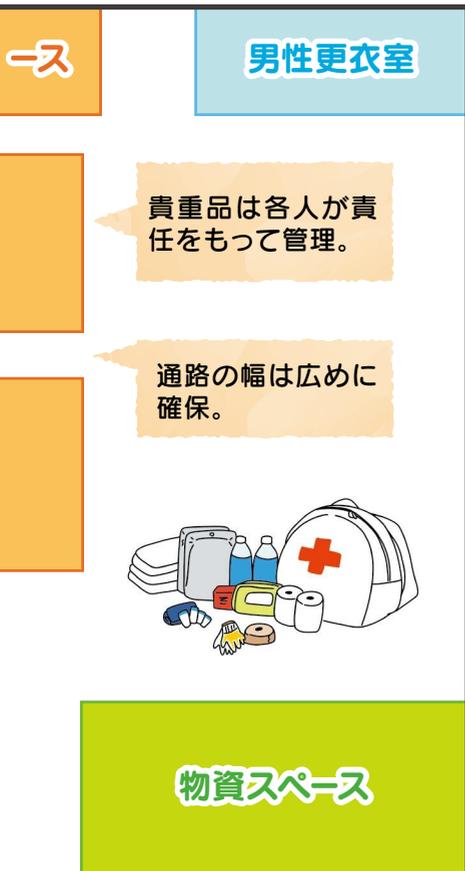
ちょっとした気遣いで安全・安心な避難所に！



妊娠中・乳幼児を お連れの方…

必要に応じて休養スペースの確保などの配慮も相談してみるとよいでしょう。乳児へのミルクを与える際は哺乳瓶やお湯の衛生管理を確認しましょう。

[参考レイアウト]



下着や生理用品などは、女性が配布できる体制を。

様々な立場の人たちへの 配慮も…

いろいろな国籍や文化、宗教の人が共に日常生活を送ることになります。違いを尊重するように心がけましょう。



洗濯物干場
(男性用)

過去の 避難所では…

混乱に乗じたDVや性被害の
事案が発生しています。

- ◆ 声を上げにくい問題だけに、
- ◆ 「知っておく」「関心を持つ」
- ◆ 「未然に防ぐ」「相談する」
- ◆ ことが大切です。

こうした被害を防止するためには、
「なるべく複数で行動する」
「声を掛け合う」
など、住民同士が協力し、
助け合うことが必要です。

災害用伝言ダイヤル(171)

震度6弱以上の地震などの発生により電話がつながりにくくなったときに利用できる伝言ダイヤルです。音声ガイダンスに従い、落ち着いて利用しましょう。

伝言の録音

- ①「171」にダイヤル
- ②「1」を押す
- ③自宅の電話番号を
市外局番からダイヤル
- ④「1」「#」を押す
- ⑤録音する(30秒以内)
- ⑥「9」「#」を押す

伝言の再生

- ①「171」にダイヤル
- ②「2」を押す
- ③相手先の電話番号を
市外局番からダイヤル
- ④「1」「#」を押す
- ⑤再生する

携帯電話・スマートフォン 災害用伝言板

各社のWebサイトトップ画面又は
アプリ画面からアクセス

【伝言の登録】

「登録」⇒「メッセージ」⇒「登録」

【伝言の確認】

「確認」⇒「電話番号」⇒「検索」

詳しくは、
「災害用伝言板の利用方法」
を確認



防災マップを確認

近隣の避難所や避難経路
などを確認しましょう。



避難所を確認

災害の種類や地震の規模
によって開設する避難所の
場所や数が変わります。



災害情報ダイヤル

八代広域行政事務組合消防本部で
は、火災や救助など管内で発生して
いる災害情報を電話でお知らせして
います。

☎050-5526-7375

電話応答サービス

屋外拡声器(屋外スピーカー)で
放送した内容を電話で聞き直すこと
ができます。(24時間以内)

☎0800-200-3348
(通話料無料)

《ミニブックについてのお問い合わせ先》

八代市総務企画部
危機管理課

☎0965-33-4112

八代市市民環境部
人権政策課

男女共同参画推進室

☎0965-30-1701